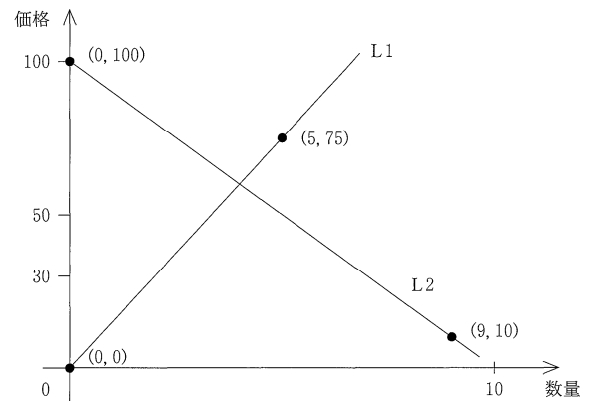


【 1 】 2007 青山学院大学 2/17 法

次の図は、多くの売り手と多くの買い手がいる市場における需給関係をあらわしたものである。価格が高くなるほど (1) が増えるので、一般に L 1 であらわされる (2) 曲線は右上がりになると考えられる。逆に価格が低いほど (3) が増えるので、L 2 であらわされる (4) 曲線は右下がりになる。直線 L 1 , L 2 の交点が市場の均衡点である。図のケースの均衡点における取引量は (5)(6) , 価格は (7)(8) である。

いま何かの事情で政府が市場価格に法律による規制を加えたとする。規制によって価格を単位あたり 30 に設定したとすると、この価格における需要は (9) , 供給は (10) であり、需要が供給を上回る (11) が生じる。通常 (11) が生じると価格が (12) し、市場メカニズムによって需給バランスが保たれる。だが、規制がある場合は、このメカニズムが働かないため市場の健全な機能が失われる。上の規制の下での取引量は (13) であり、規制がない場合より縮小し、社会全体の利益が損なわれる。この意味で、物価や金利などに政府が介入し、法律で上限や下限を定めることは好ましくないといえる。

- 1 . (1) ~ (4) にふさわしい語を書きなさい。
- 2 . (5) ~ (6) に入る数に対応する数字をマークしなさい。 (5) には 10 の位 , (6) には 1 の位の整数が入る。答えが一桁の場合は、10 の位には 0 をマークすること。
- 3 . (7) ~ (8) に入る数に対応する数字をマークしなさい。 (7) には 10 の位 , (8) には 1 の位の整数が入る。答えが一桁の場合は、10 の位には 0 をマークすること。
- 4 . (9) ~ (10) に入る数と同じ数字をマークしなさい。
- 5 . (11) ~ (12) にふさわしい語を書きなさい。
- 6 . (13) に入る数と同じ数字をマークしなさい。



【解答 1】 2007 青山学院大学 2/17 法

- 1 . (1) 売り手 (2) 供給 (3) 供給量 (4) 需要 2 . (5) 0 (6) 4 3 . (7) 6 (8) 0
- 4 . (9) 7 (10) 2 5 . (11) 超過需要 (12) 上昇 6 . (13) 2

【 2 】 2005 中央大学 2/14

アダム＝スミスは、その著書『国富論』において、各人が利己心に基づいて経済活動をおこなっても () が働いて社会に利益がもたらされるという議論を展開した。そのうえで彼は、政府の市場経済に対する介入について否定的見解を示した。

その後、資本主義経済が発展するにつれて、貧富の差などさまざまな問題が発生した。とりわけ 1929 年に発生した () がひとつの契機となって、第二次世界大戦後、欧米諸国の政府は、市場経済に対して積極的に介入して、マクロ経済の安定および成長を目指した。さらにこの時期、 () 国家の建設を目標に掲げ社会保障政策の充実がはかられた。このように、経済において政府も重要な役割を果たす経済体制は () 体制と呼ばれる。

政府による積極的な経済に対する介入の結果、政府規模は拡大して、巨額の財政赤字が発生した。このような財政危機に直面して、各国政府は、1980 年代以降、政府による経済に対する介入を見直し、さまざまな改革を実行した。イギリスのサッチャー首相、アメリカのレーガン大統領による改革が代表的

な例である。これらの改革において、市場の働きが再評価された。

経済学の理論において、市場の分析は非常に重要である。理想的とされる市場の状況は「完全競争市場」と呼ばれる。このような市場状況において、「需要と供給の均衡」が発生すれば価格は下落する。また「供給不足」が発生すれば価格は上昇する。その結果、需要と供給が等しくなるように価格が調整される。このように、価格のメカニズムがうまく機能して、すべての商品やサービスの需要と供給が等しくなれば、政府が経済に対して介入する根拠はなくなる。しかし現実には、すべての商品やサービスについて、価格のメカニズムがうまく機能するわけではない。

売り手または買い手が1人しかいない「独占市場」と呼ばれる状況では、ある者は自分に都合がよいように価格を操作できる。このような価格は、売り手および買い手が多数存在する「競争市場」で成立する価格とは異なる。また、経済主体が他の経済主体に、市場を経由しないで便益を与える「外部経済」と呼ばれるケースや不利益を与える「外部不経済」と呼ばれるケースでも、価格のメカニズムはうまく機能しない。b. 公共財、公害は、それぞれ、「公共財」、「公害」の代表的な例である。

このように価格のメカニズムがうまく機能しない「市場の失敗」と呼ばれるケースが存在するので、政府の経済に対する介入は必要ではあるが、必要な限度を超えると先に述べたように、政府の規模が過大になり財政危機に陥る。1980年代以降の市場の働きの再評価は、このような問題点を認識したうえで、政府の経済に対する介入の見直しをおこなっている。

問1 文中の空欄「完全競争市場」～「市場の失敗」にあてはまる適切な語句を解答欄に記入しなさい。ただし、同じ番号の空欄には同じ語句が入る。

問2 1976年にノーベル経済学賞を受賞し、下線部aで述べられているような改革を支持する経済学者の名前を解答欄に記入しなさい。

【解答2】 2005 中央大学 2/14, A方式, 本学 経済学部(経済学科/公共経済学科)

問1 神の見えざる手 世界恐慌 福祉 混合経済 自由競争 超過供給
超過需要 独占 外部経済 外部不経済 市場の失敗 問2 フリードマン

問3 公共財は一般商品と違い、人々に区別なく利用され、コストも高く、利潤を得るのが困難だから。

問4 社会的費用

【3】 2005 中央大学 2/17

今日の資本主義経済の特徴は次のようなものである。

第1に、この経済は商品経済である。商品とは何か。我々が消費するものはすべて商品と言えるのかというと、必ずしもそのようには言えない。例えば、毛糸を買ってきて母親が子供のためにセーターを編んだ場合、このセーターは商品と言えるのだろうか。どうもそのようには言えない。毛糸は、母親が毛糸屋から「買ってきたもの」であるが、セーターについては、子供が母親から「買ったもの」ではない。しかし、毛糸にしる、セーターにしる、それを使用する人には「役に立つ」という意味で、有用性をもつ生産物という共通な面を持っている。しかし、この場合、毛糸については、「買う」という行為を伴うのに、セーターには、「買う」という行為が伴わない。経済学では、ものを買ったり売ったりする場を「⁽¹⁾市場」と呼んでおり、商品とは、この「市場」で買い求められたものである。そうすると、母親が子供のために作ったセーターは、「市場」で買い求められたものではないので、商品と言えないことになる。このような「市場」では、価格の決定に関わる(A)が作用している。

第2に、今日の経済は、貨幣経済でもある。商品を自分のものにするためには、それを「⁽²⁾貨幣」で買わなければならない、買うことによって初めてものを消費することができる。貨幣には、どんな商品

でも買うことができる(B)としての機能が備わっていることから、生産者は、まず、自分の商品を貨幣に置き換えておこうとする。そうすれば、いつでも必要なとき、必要なものを購入することができるからである。かくして、商品生産者にとって商品が売れるかどうかが最大の関心事となる。にもかかわらず、現実の経済では、市場で商品が売れ残ることがあるが、そのことは商品と貨幣の交換、すなわち、需要と供給が不均衡になる可能性を示している。なお、今日、わが国の主要な貨幣(通貨)は⁽³⁾日本銀行券である。

第3に、この経済は何よりも利潤を求める企業の活動によって発展してきた。企業は生産に必要な工場や設備を準備し、原材料を調達し、労働者を雇用して生産活動をする。労働者は、労働力を賃金と引き換えに提供し、その賃金以上の(C)を生み出すことが求められている。同時に、企業は、市場で自社製品の売込みをめぐって他の企業と競争するが、そのためには可能な限りコストを切り下げ、自社製品の価格を引き下げようとする。この企業間競争は、特に、⁽⁴⁾労働生産性の引上げをめぐる競争として現われる。

第4に、市場における企業間競争の結果、競争力の弱い企業が徐々に淘汰されて、市場は競争を生き抜いてきた巨大な資本と生産力を擁する数少ない企業によって支配されるようになった。資本主義は自由競争の段階から、いわゆる(D)の段階に移行した。巨大な生産力を持つようになったこれらの企業とその国家は、植民地の獲得など世界市場における自国の支配圏を拡大するために激しい覇権争いを繰り返し、⁽⁵⁾大規模な世界大戦を引き起こした。

第5に、株式会社制度の確立である。企業規模が巨大化するにしたがって、企業は巨額な資金を少数の資本家から調達するのが困難になってきた。そのため、企業の資金調達は⁽⁶⁾株式を発行し、多くの株主から広く資金を集める方法が中心となっていった。株式会社制度の発達には、(E)という形態をとる財閥本社を頂点とした財閥や、巨大銀行を中核とした⁽⁷⁾企業集団の形成を促進した。

第6に、好況と不況が交互にやってくる景気循環の存在である。資本主義経済は正常に機能している時は、年々生産能力を増大させながら発展していくのであり、それを経済成長という。経済成長率が高い好況局面では企業の売上も利益も増大するので積極的に投資が行われ、雇用と消費を増大させながら、さらに投資を増大させていく。すなわち、(F)という好況時に特有な状況を生み出していく。しかし、この状況が限界を超えて進むと⁽⁸⁾投資の増大が企業の利益の増大につながらず、かえって、企業の利益を減少させるような状況を生み出してしまう。企業は投資を抑制し、雇用を削減する。この結果、社会は全般的な(G)に陥り、経済成長率は低下し、企業倒産や失業が増大することになる。いわゆる不況である。不況局面では、企業は利益の回復のためにコストの削減に努力し、政府も公共事業を増やすなど景気刺激策を実施し、中央銀行は⁽⁹⁾金融緩和政策に転換し、景気の回復に努める。

問1 文中の空欄A～Gに当てはまる最も適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問2 下線部(1)に関連して、市場の自由な競争を重視して、政府の経済への関与を極力避けるべきだと考えた18世紀から19世紀にかけて有力であった経済学派の名称を解答欄に記入しなさい。

問3 下線部(2)の貨幣には市場に出される商品の価格を表示する機能がある。この機能を何と呼ぶか、最も適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問4 下線部(3)の現在流通している日本銀行券は不換銀行券である。不換銀行券とは、何と交換できない銀行券なのか、適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問5 下線部(4)のような企業間の競争によって企業がコストを引き下げることができるとすると、それはどのようにして可能となるのか、ア～ウの中から適切なものを1つ選びなさい。

ア．安価な原材料を調達して単位生産量のコストを引き下げる。

イ．単位生産量に投入される労働力を減らしてコストを引き下げる。

ウ・低賃金の労働者を雇用して単位生産量のコストを引き下げる。

問6 下線部(5)に関連して、第1次世界大戦のさなかの1916年にロシアのレーニンが発表した著書は何か、その著書名を解答欄に記入しなさい。

問7 下線部(6)のように、企業の株主が増大していく(大衆化が進む)と企業経営に変化が生じる。この変化を最も適切に表現する語句を解答欄に記入しなさい。

問8 下線部(7)の企業集団の形成に関連する3つの要件とは何か、最も適切な語句を解答欄に記入しなさい。

【解答3】2005 中央大学 2/17

問1 (A) 自動調節機能 (B) 交換仲介 (C) 付加価値 (D) 独占資本主義 (E) 持株会社
(F) 拡大再生産 (G) 景気の後退 問2 古典学派 問3 価値尺度機能 問4 金 問5 イ
問6 帝国主義論 問7 所有と経営の分離 問8 株式持ち合い、相互取引の拡大、社長会の設置

【4】2005 同志社大学 2/5, 本学・地方 社会学部

財・サービスを供給したい売り手(供給者)と、それを購入したい買い手(需要者)が集まる「場」を市場という。しかし、その「場」に居合わせなくても、電信・電話やファックスなどを使って、市場に影響を及ぼすことができる。したがって、より抽象的には市場とは、ある財・サービスの価格に影響を及ぼす売り手と買い手の集合のことである。

需要者が無数に存在して供給者が少数ならば、供給者に有利となろう。しかし、その数がお互いに無数であれば、各人は大海の一滴にすぎなくて、何らの影響力も行使できないであろう。(a)こうした状況のもとでの競争を(ア)という。需要者が無数に存在するが、もし供給者がただ一人ならば(イ)、供給者が少数ならば寡占という。とくに、(イ)は電気、ガス、水道など(b)固定設備に巨額な費用がかかり、生産量が増加するにつれて平均費用が低下していく場合に生じやすい。

現実には米、肉など1つの財でも幾種類かのものが存在する。売り手は同じ財であっても、品質、性能、デザインなどを変えることによって、買い手に自社と他社の差をアピールする。これを製品の(ウ)といい、広告・宣伝と共に、非価格競争の1つの重要な要素である。しかも、寡占のような状況では需要の変化、生産費用の変化等があっても、価格が下がりにくくなっている。これは価格の(エ)と呼ばれている。かつて、(c)ある企業が価格を設定すると、他の企業がその価格に従うということがしばしばなされた。戦後、(イ)や寡占による市場支配力に基づく弊害から需要者を守るために、(オ)が制定されて、(カ)が設置された。(カ)は、合理化の促進や不況期の場合などを除いて(d)企業間の価格や生産量に関する協定などを監視している。

しかし、(e)財・サービスの価格メカニズムは必ずしも十分機能しない場合がある。そのなかには、市場を通さずに経済主体に影響を及ぼす(キ)や(ク)がある。工場の煤煙、騒音、悪臭などは(ク)の例である。また、国防、警察や消防、道路や公園など一度供給されたら排除できない、いわゆる「ただ乗りする人」を意味する(ケ)が続出するような(コ)の存在がある。(コ)には、同一の財から二人以上の個人が同時に消費可能である(サ)と、料金を支払わない人を物理的力以外では排除できない(シ)の2つの性質がある。したがって、その供給量は政府の判断で、市場を経由することなく決定される。

〔設問1〕 文中の(ア)～(シ)に最も適切な語句を、解答欄に記入せよ。

〔設問2〕 次の文中の(A)～(E)に最も適切な語句を以下の語群から1つ選び、その番号を解

答欄に記入せよ。

下線部(a)では、需要量が供給量を上回れば(A)が存在し、価格は上昇する。価格が上昇すれば、需要量は(B)するが供給量は(C)するので、(A)は(B)する。逆に、需要量が供給量を下回れば(D)が存在し、価格は下落する。価格が下落すれば、需要量は(C)するが、供給量は(B)する。したがって、需要量と供給量の間にギャップがあれば、価格の変化を通して品不足や品余りが自然に解消される。とくに、需要量と供給量を一致させる価格を(E)と呼ぶ。

1. 独占価格 2. 増加 3. 固定化 4. 均衡価格
5. 超過需要 6. 寡占価格 7. 減少 8. 超過供給 9. 管理価格

〔設問3〕 下線部(b)は何というのか。最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

〔設問4〕 下線部(c)に関して、最初に価格を設定する企業を何というのか。

〔設問5〕 下線部(d)は何というのか。最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

〔設問6〕 下線部(e)は何というのか。最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

【解答4】 2005 同志社大学 2/5, 本学・地方 社会学部

設問1 ア 完全競争市場 イ 独占 ウ 差別化 エ 下方硬直化 オ 独占禁止法 カ 公正取引委員会 キ 外部経済 ク 外部不経済 ケ フリー・ライダー コ 公共財 サ 非競合性 シ 非排除性 設問2 A 5 B 7 C 2 D 8 E 4 設問3 スケール・メリット
設問4 プライス・リーダー 設問5 カルテル 設問6 市場の失敗

【5】 2005 明治大学 2/18, 本学 農学部(農業経済学科)

資本主義経済の下で、財やサービスの供給と需要が会って価格の調整が行なわれる場を市場という。理論的に言うと、この市場が、()の場合には、()という市場メカニズムが働き、供給と需要は均衡が保たれ()がなされる。

しかし、現実の経済では、こうした市場メカニズムが有効に作用しているわけではない。今日のように財やサービスの供給側に独占や寡占体制が成立している下では、このような「市場の限界」はますます明らかになっている。

また、ある経済主体がおこなう市場での活動が、その市場取引以外の人に利益をもたらすことを 10 1 といい、不利益をもたらすことを 102 という。

たとえば、教育サービスはそれを受ける人だけでなく社会的教育水準を全体として向上させるといったことが前者の好例である。また、後者としては、地球規模でのモータリゼーションの発展は、大量の二酸化炭素や有害排気ガスを大気中に排出させ、地球温暖化の原因の一つになっていることがあげられる。なお、今日のように財やサービスの供給量が増大すればするほど、こうした負の効用が大きくなる傾向にある。このように、私的企業を越えて発生する()をどうするのかという問題と同時に、「市場の限界」への対応策が求められている。

いうまでもなく、今日の先進国では、いずれの国でも多かれ少なかれ⁽¹⁾ 国家が市場や経済過程に介入するという()の下にある。しかし、この国家の経済介入の程度という点で、()年代頃を境にしてそれまでの「大きな政府」による積極介入型から⁽²⁾ 「小さな政府」による消極介入型へと大きく方向転換してきたのは、わが国も含めた欧米先進国の間でほぼ共通してみられる特徴である。

問11 空欄()に入るべき用語として正しいものの記号を一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 寡占市場 B 不完全競争市場 C 完全競争市場 D 独占市場 E 管理市場

- 問 12 空欄()に入るべき用語として正しいものの記号を一つ選び、解答欄にマークしなさい。
 A 価格の下方硬直作用 B 価格の自動調節作用 C 非価格競争作用 D 価格破壊作用
 E 等価交換作用
- 問 13 空欄()に入るべき用語として正しいものの記号を一つ選び、解答欄にマークしなさい。
 A 資源配分の不平等化 B 市場の細分化 C 資源配分の最適化 D 市場の単一化
 E 市場の開放化
- 問 14 空欄 の正しい語句を、解答欄に記入しなさい。
- 問 15 空欄 の正しい語句を、解答欄に記入しなさい。
- 問 16 空欄()に入るべき用語として正しいものの記号を一つ選び、解答欄にマークしなさい。
 A 社会的費用 B 迂回費用 C 直接費用 D 間接費用 E 私的費用
- 問 17 空欄()に入るべき用語として正しいものの記号を一つ選び、解答欄にマークしなさい。
 A ブロック経済体制 B 社会主義経済体制 C グローバル経済体制 D 金融資本主義体制
 E 修正資本主義体制
- 問 18 下線部(1)を唱えた経済学者として正しいものの記号を一つ選び、解答欄にマークしなさい。
 A マルクス B スミス C マーシャル D ウェーバー E ケインズ
- 問 19 空欄()に入るべき数字として正しいものの記号を一つ選び、解答欄にマークしなさい。
 A 1950 B 1960 C 1970 D 1980 E 1990
- 問 20 下線部(2)の内容から誤っているものの記号を一つ選び、解答欄にマークしなさい。
 A 規制緩和政策 B レーガノミックス C サッチャリズム D シカゴ学派
 E ニューディール政策

【解答 5】2005 明治大学 2/18, 本学 農学部(農業経済学科)

- 問 11 C 問 12 B 問 13 C 問 14 外部経済 問 15 外部不経済 問 16 A 問 17 E
 問 18 E 問 19 D 問 20 E

【 6 】2007 早稲田大学 2/21 商

私たちの社会では、財・サービスの生産、交換、消費などの経済活動は、家計、企業、政府の三つの経済主体によって行われ、各経済主体の活動は市場を通じて相互に結びついている。

このうち、企業とは、財・サービスの生産活動を営む意思決定単位のことである。企業活動の基本は、原材料、労働、土地、資本などの を投入して、財・サービスを作り、それを販売して収入を得ることにある。企業の目標には 利潤の追求のほか、従業員の生活保障、売り上げの増加、マーケット・シェアの向上、社会的貢献などいろいろある。ただし、市場経済体制のもとでは、企業存立の基盤は利潤の追求にあるから、合理的な企業ならば、利潤最大化を目標にして行動すると考えてよい。

民間資本で営まれる私企業は、個人商店や農家などの個人企業と、株式会社や農協・生協などの に大別することができる。2004 年の「事業所・企業統計調査」(総務省)によると、個人企業の数はおよそ 286 万(正確には、個人経営の事業所数)である。また、会社企業の数は約 153 万で、その大半は中小企業であるが、規模の大きな企業はほとんどが株式会社の形態をとっている。株式会社の重要な特徴としては、株主の(1)および _(a) 所有と経営の分離があげられる。

もし、市場が完全競争の状態にあれば、一物一価の法則が成り立ち、各企業はプライス・テイカーとして行動し、利潤が最大になるように自らの生産水準を決める。また、完全競争市場では、市場取引が

ら生じる企業と家計の便益の合計は、どんな市場形態の場合よりも大きく、その意味で市場の C が達成される。これに対し、市場が独占や寡占などの不完全競争の状態にあるときは、各企業は何らかの価格支配力を持ち、利潤が最大になるように価格と生産量の水準を決めることができる。その結果、 完全競争の場合と比べて、企業はより有利な状況になるが、企業と家計全体の便益は小さくなる。

また、不完全競争市場とりわけ寡占市場では、企業はいつも自己の利益だけを考えて、独立的に行動するわけではない。市場における企業数が少なく、相互依存の関係にあるので、^(b) カルテルを結ぶ など、お互いに協調することで相手企業との競争を避け、利潤の増加・安定的確保をはかることが可能である。あるいは、価格の引き下げは相手企業の対抗措置を招きやすく、熾烈な価格競争に陥る可能性が大きい。寡占企業は互いにこの点を認識し、^(c) 品質・性能・デザイン・ブランドなどの差異や広告・宣伝活動など、非価格面で競争を展開することが多い。さらに、企業規模の拡大、経営の多角化、事業の海外展開などのため、近年、企業の(2)も盛んに行われるようになってきた。

こうした独占的・協調的行動が見られる市場では、企業側に大きな独占利潤が発生したり、市場の本来の機能が損なわれ、社会的に望ましくない結果が引き起こされる。そのため、政府は競争制限的な市場の構造や行動を規制する必要がある。わが国の独占禁止政策は、独占禁止法にもとづく規制が中心で、公正取引委員会によって運営されている。

問1 文中の空欄 A ~ C に入る最も適切な語句を、所定欄に記入せよ。

問2 文中の下線部(a) ~ (c)に関連する以下の問いに答えよ。解答は所定欄に記入せよ。

- (a) 所有と経営が分離している状況で、企業経営の適正性を確保するには、経営者をどのように監視・監督するべきかが問題となる。これを何とよぶか。
- (b) カルテルのような明示的な取り決めはないが、同じような協調の効果を発揮するものを何とよぶか。
- (c) このような差異を作り出すことを何とよぶか。

問3 文中の空欄(1), (2)に入る最も適切な語句を、以下の各選択肢(ア) ~ (オ)から1つずつ選び、その記号を所定欄にマークせよ。

- (1) (ア) 連帯責任 (イ) 無限責任 (ウ) 無過失責任 (エ) 自己責任 (オ) 有限責任
- (2) (ア) 民営化 (イ) 改革開放 (ウ) 合併・買収 (エ) 株主代表訴訟 (オ) 株式持ち合い

問4 文中の下線部 ~ に関連する以下の問いについて、以下の各選択肢(ア) ~ (オ)から最も適切なものを1つ選び、その記号を所定欄にマークせよ。

- (1) 下線部 の経済主体の活動と市場についての記述として、適当でないものはどれか。
 - (ア) 市場が超過需要の状態になると価格は上昇して、それに伴い、需要量は減少、供給量は増加する。
 - (イ) 財・サービスの需要が減少すると、市場の価格は下がり、取引量は増加する。
 - (ウ) 家計は賃金、利子、地代などを所得として受け取り、これを支出して、消費生活に必要な財・サービスを購入する。
 - (エ) 政府は各種の公共サービスや社会資本を提供する代わりに、家計や企業から租税を徴収するほか、公債の発行による借り入れで資金を調達する。
 - (オ) 中間生産物の取引では、売り手も買い手も企業である。
- (2) 利潤の定義として、適当なものはどれか。なお、- はマイナスを意味する。
 - (ア) 資本金 - 借入金 (イ) 生産量 - 投入量 (ウ) 資産 - 負債 (エ) 総収入 - 総費用
 - (オ) 現金・預金 - 返済金
- (3) 企業の 社会的貢献と、最も関連性の小さいものはどれか。
 - (ア) リストラクチャリング (イ) メセナ (ウ) フィランソロピー (エ) CSR

- (オ) 環境保全・公害対策
- (4) 市場経済体制の特質といえないものはどれか。
 (ア) 消費者主権 (イ) 企業活動の自由 (ウ) 生産手段の公有 (エ) 神の見える手
 (オ) 自由競争
- (5) 個人経営の事業所数が最も多い業種はどれか。
 (ア) 製造業 (イ) 飲食店、宿泊業 (ウ) 金融・保険業 (エ) 卸売・小売業 (オ) 建設業
- (6) 会社企業についての記述として、適当でないものはどれか。
 (ア) 従業員が10人未満の会社が、全体の2/3ほどを占める。
 (イ) 2004年の調査では、株式会社のほうが有限会社よりも数が多い。
 (ウ) 2005年制定の会社法により、最低資本金規制が撤廃されて、資本金1円でも株式会社の設立が可能になった。
 (エ) 2005年の会社法の制定に伴い、有限会社の制度は廃止され、株式会社の制度に統合されることになった(既存の有限会社は存続可能)。
 (オ) 会社全体のほんのわずかな割合であるが、合名会社や合資会社という会社組織も存在する。
- (7) 一物一価の法則が成り立つための前提条件として、適当でないものはどれか。
 (ア) 価格の伸縮性 (イ) 商品の同質性 (ウ) 小規模な多数の売り手
 (エ) 小規模な多数の買い手 (オ) 不完全情報
- (8) 下線部の不完全競争についての記述として、適当でないものはどれか。
 (ア) 市場で取引がなされるときには、買い手が支払ってもよいとする価格(需要価格)と、売り手がどうしても受け取る必要のある価格(供給価格)は等しくなる。
 (イ) 売り手である企業は、生産を抑え価格を吊り上げることで、利潤を増加させることができる。
 (ウ) 買い手である家計からすると、価格は高く供給量は少なくなるため、市場取引から得られる便益は減少する。
 (エ) 売り手が2社だけの市場は、とくに複占といわれる。
 (オ) 食品、衣料品、飲食店、学習塾などの分野は独占的競争とよばれ、この市場構造も不完全競争の一種である。
- (9) わが国の独占禁止政策についての記述として、適当でないものはどれか。
 (ア) 独占禁止法は1947年に制定され、正式名称は「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律」である。
 (イ) 公正取引委員会は、独占禁止法を運用するために設置された独立の機関で、委員長と4名の委員で構成されている。
 (ウ) 独占禁止法の目的は、公正かつ自由な競争を促進することであり、私的独占・不当な取引制限・不公正な取引方法を禁止し、また合併を制限している。
 (エ) 持株会社の設立は、独占禁止法により禁止されていたが、現在では認められている。
 (オ) 再販売価格維持行為は、かつて独占禁止法の適用除外として認められていたが、現在では、この適用除外制度は廃止されている。

【解答6】2007 早稲田大学 2/21 商

- 問1 A 生産要素 B 法人企業 C 効率性 問2 (a) コーポレート・ガバナンス [企業統治]
 (b) プライス・リーダーシップ [管理価格] (c) 製品差別化 問3 1 (オ) 2 (ウ)
 問4 (1) (イ) (2) (エ) (3) (ア) (4) (ウ) (5) (エ) (6) (イ) (7) (オ) (8) (ア) (9) (オ)